

2012年度予算要求108項目を提出

今こそ、住民を守る砦としての自治体に 原発、TPP、憲法、福祉、まちづくり

皆さんからの要望を、予算要求書としてまとめ、12月20日厚木市長に提出しました。
引き続き要求実現に向け頑張ります。

今週の活動から



来年度予算要求を提出しました。(中央：釘丸久子議員、右：栗山香代子議員) 郷土資料館では1月15日まで「郷土をしのぶ・しるすー市民の歴史探索50年」を展示中(左：栗山委員)

3. 少子化対策・子育て支援の充実を

- ①小児医療費助成制度を、国の制度とするよう、国に要求すること。
- ②県に対し、小児医療費助成制度の補助率の引き上げ、一部負担金の廃止を要求すること。
- ③保育所については、施設の増設・拡充や民間施設への助成で、待機児童解消をはかること。入所にあたっては保護者の勤務地など希望に沿うようにすること。
- ④子どもの保育環境改善のため、定員越え保育の解消をはかること。また、国に対して、保育基準の引き下げなど改悪を行わないよう要求すること。

1. 東日本大震災・原発事故を教訓として、市民の生命・財産を守るために

- ①放射能被害から市民を守るために、情報の取得、周知に努めること。
- ②外部被曝を防ぐために、学校、幼稚園、保育園、通学路、公園など、子どもが近づく場所、側溝などホットスポットになりやすい場所について、市が責任を持って調査し、放射線量の高いところは除染すること。
- ③内部被曝を防ぐために、小中学校・保育所の給食食材検査の品目と回数を

拡大すること。

- ④市として、検査機器を確保するなど、食品検査体制を抜本的に強化するとともに、国、県とも連携して検査の市民ニーズに応えられるようにすること。
- ⑤希望する子どもの尿検査を実施すること。
- ⑥厚木市に避難している被災者に対して、きめ細かな対応をすること。
- ⑦放射能汚染に対する国民の不安の大本である原子力発電所の廃止を国に働きかけること。



⑤育児休業制度を全事業所で実施し、母親だけでなく父親も取得できることを周知すること。休業中の給与保障を国に求めること。

- ⑥保育所の障害児・ゼロ歳児・時間外保育を拡大し、病児・病後児保育を実施すること。
- ⑦すべての無認可保育所の実態を調査し、保育環境の改善をはかるよう支援すること。
- ⑧私立幼稚園就園奨励金の支給事業を拡充すること。
- ⑨子育てで日常生活支援事業の対象者を拡大し、総合的な子育て支援策に拡充すること。
- ⑩不妊治療費助成事業を拡充し、さらに不育症治療への支援を行うこと。

2. 医療・福祉の充実を

- ①介護保険制度は、実態をよく把握し、対象者・家族がより利用しやすいものとする。
- ②平成24年度の介護保険料改定にあたり、基金を活用して引き下げを図ること。また、介護保険料・利用料の減免制度を拡充すること。
- ③老人施設の特権者解消のために、増床等の対策を講じること。
- ④介護従事者が専門職として生きがいをもって働けるよう、待遇改善や研修の充実をすること。
- ⑤かなちゃん手形の補助制度の対象年齢を、現行の70歳から65歳に引き下げ、通年で申請できるように改善すること。
- ⑥厚木市として医療費の無料化をはかること。当面65歳以上の医療費を無料にすること。また、国に対して医療費無料化を要求すること。
- ⑦後期高齢者医療制度の即時廃止を国に求めること。
- ⑧国に対して、難病患者の指定枠の拡大と公費助成の拡充をはかるよう要求すること。
- ⑨厚木市立病院の建て替えについては、患者・利用者への影響を最小限に抑えること。市民・職員の意見をよく聞いて進めること。
- ⑩国に対して、国民健康保険事業への国庫負担の増額をしよう求めること。
- ⑪一般会計からの繰り入れを増やし国民健康保険料を引き下げること。
- ⑫国民健康保険料の減免制度を拡充すること。適正な職員配置により、懇切丁寧な納付指導を行い、資格証の発行を極力抑えること。
- ⑬国民健康保険一部負担金減免制度の周知

徹底を行うこと。

- ⑭心身障害者医療費助成制度の所得・年齢制限を徹底すること。
- ⑮障害者の雇用拡大を企業に働きかけ、法定雇用率の達成を求めること。厚木市が率先して障害者雇用に取り組むこと。
- ⑯障害者自立支援法改正については、障害者及び関係者の意見を充分くみ上げるよう、国に要請すること。
- ⑰点字ブロックをより安全、確実な方法で設置し、さらに個所を拡大すること。点字ブロック上に自転車、看板などを置かないよう充分指導すること。
- ⑱精神障害者のためのグループホームの増設を行うこと。
- ⑲障害者の自動車ガソリン助成事業については、定量で助成するように改善すること。
- ⑳福祉タクシー事業について、一枚の金額を初乗り運賃に引き上げること。
- ㉑生活保護の申請をしやすくして、可能な限り早期の支給を行うこと。
- ㉒インフルエンザ対策を充実し、予防接種の助成を拡大すること。
- ㉓脳脊髄液減少症に対する認識を深め、適切な対応を行うこと。
- ㉔厚木市立病院で各種の難病対応をはかること。また、精神科の夜間救急を行うこと。
- ㉕高齢者支援事業をひとり暮らし高齢者だけでなく、高齢世帯にも適用すること。
- ㉖シルバーチケット(保養施設等利用助成券)については、介助が必要な人には、介助者への助成も行うこと。
- ㉗自殺の実態を調査し、予防のための相談窓口を充実すること。

